

令和2年度 第1回瀬戸市環境衛生審議会（書類開催）議事録	
日 時	送付 令和2年7月 1日 締切 令和2年7月15日
会長及び副会長の選任について	
各委員異議なし。	
ごみ処理適正負担の検討について	
今年度実施予定の令和2年度ごみ減量施策（事務局案）の内容、進め方についてご意見をお願いします。また、他に効果的だと考えられる啓発方法がございましたら、ご記入ください。	
副会長	<p>■内容、進め方について</p> <p>予算上等に都合もある中で、実施できそうな事項は取り組まれていると思う。</p> <p>他自治体の取組において、取り入れ可能な事例は他にあるか。</p> <p>減量目標値が挙げられているが、現実的な実現可能性については、どの程度議論されているものなのか。</p> <p>■効果的だと考えられる啓発方法</p> <p>地元のスーパーやコンビニ等におけるアナウンスを通じた意識付け、啓蒙ができないか。</p> <p>スーパーやコンビニが、環境活動への取組を行っていただければ、その宣伝とともに、皆さんができることとして、瀬戸市内で取り組むべき内容をアナウンス。民放でのCM。</p>
委員	<p>■内容、進め方について</p> <p>進め方はよいと思う。減量することは大事なことで、ごみに対して現状を知ってもらうこと、なぜ減らないかを自治会の活動の一部として話ができないかと思う。</p>
委員	<p>■内容、進め方について</p> <p>よいと思う。せとまちテレビに以前出演した時、全く知らない人に「ごみのおばさん」と言われたことがあるので、年間に何回も放映したほうがよい。チラシを市民活動センターでも、配布や説明をしてほしい。</p> <p>■効果的だと考えられる啓発方法</p> <p>地域との連携をとって、PRするのもよいと思う。たとえば、モデル地区を決め、いろいろな方法を検証するなかで、今後の方向性を考えるのも一案ではないか。ただし、地域によっては、ごみ減量に対する姿勢が大きく異なっている。</p>
委員	<p>■内容、進め方について</p> <p>町内（組）での回覧板でのチラシ配布。</p> <p>■効果的だと考えられる啓発方法</p> <p>個人情報対策が必要ではあるが、ごみを出す時に記名式等にし、市外からの持ち込みをなくす。</p>
委員	<p>■内容、進め方について</p> <p>視覚、聴覚からみてよい。資料の枚数をなるべく減らす。ごみ収集車での</p>

	具体的な広報はとてもよいと思う。
委員	<p>■内容、進め方について 四半期または半期毎に目標達成率、減量を発表。広報、各施設へ掲示。テレビ、ラジオ出演での発表。市民説明会の開催。市長の決意表明を大々的に行う。</p> <p>■効果的だと考えられる啓発方法 市職員、市長が先頭に立って、現状ごみ量と削減について目標を設定し、市民に公開する。自宅のごみを計量し、減量を実施する。市民モニターを募集し、同様の内容を実施する。結果の公表をする。庁舎、公共施設に啓発垂れ幕設置。</p>
委員	<p>■内容、進め方について 承知した。</p> <p>■効果的だと考えられる啓発方法 ごみに関心を持っていただくために、最も大切なことは顔と顔を合わせて伝えることが大切であるが、現状では無理なため、すでにコロナ対策等で市長含め瀬戸に関わりが深い有名人や広報大使等の方々からメッセージをいただいているが、我が家のごみ対策についても紹介してもらおうことはどうか。</p> <p>瀬戸市のホームページ内で、ごみ減量で検索しても該当する項目がなかったと思われる。サイト内で、もっと紹介や現状の周知の検討はどうか。</p> <p>瀬戸市の封筒の裏面でもよいから、へらせっとくんとごみ減量の宣伝（ミックスペーパー、食品ロス）をする。</p> <p>設置可能な集積場に、啓発看板や電柱等にポスターを設置して、周知を広める。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様にご記載いただいた啓発方法につき、実施に向けて検討を行い、事務局案の内容を更新しながら進めていく。 ・一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを行った際に、本計画に掲げられている施策のうち未着手のものや、さらなる拡大を見込める施策を推進することにより、目標達成は不可能ではないと判断した。
ごみ減量施策を進める上では、辛く強制されるだけでなく、ごみを減らす行動が自分のメリットになるように、具体的な利益を考えることも重要だと考えます。ごみ減量の結果が出た際に、市民に対してメリットまたは嬉しいこととして考えられることをご記入ください。	
会長	<p>花を配る。植えるのはメンテナンスが大変なため反対。</p> <p>瀬戸市と協定や保養施設を有している旅行先や産地はないか。</p> <p>将棋教育への寄付、観戦ツアー。</p>
副会長	ご褒美のための活動は持続しないと思う。利益を得るというよりは、ごみ減量をしないと損をする仕組み（ごみ減量をするとう損をしない）さえあれば、よいように思う。つまり、行く行くは有料ごみ袋では。市民に利益還元をして、成功している事例はあるのか。
委員	燃えるごみを減量することにより、処理費の削減分を市内道路の草刈り、ごみ集め等、きれいな町にできることができればと思う。
委員	町内会で分別した資源ごみへ助成金を出す。それにより、各家庭が年間出

	す町費を減額する。
委員	減量の結果に応じて、ごみ袋のプレゼント。負担増加分の軽減を結果が出た際は還元する。
委員	利益還元にあたって、たとえば、市内の全公園に花を植える。本は、どのような本か、どこに置くか考える。水道料金等、市に関連する料金の値下げ。個人的な還元は、ポイントカード、食品、商品、図書券、市主催の映画券の進呈、市主催の閲覧場所などの無料券。
委員	晴丘センターの二酸化炭素発生量を公表し、減量による二酸化炭素削減により、住民としての誇りを得る。他の要素を加えて、安心安全な町としてPRを目指す。小中学校通学路にある植栽、個人家屋の庭植物に名札をつける運動の資金。瀬戸市地球温暖化防止実行計画を市役所から市全体に広げる資金にする。
委員	生ごみ、草、落ち葉等のリサイクルや資源化への補助制度の創設（コンポスト提供等）や庭木の剪定樹木限定の収集方法（個別や収集日）の検討。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルに聞く限りでは、市民に利益還元をしている事例は、ないようである。 ・いただいたご意見については、実現方法を含め検討を行いたい。
ごみ減量施策の実施にあたり、市職員だけでなく、市民の代表として各委員に情報の発信源となっていただくような、ご協力が必要不可欠と考えております。貴殿が、地域、団体等で実施できるごみ減量の案をご記入ください。	
副会長	ごみ問題は、仕組みの構築とそれを遂行する市民一人一人の意識の問題である。各委員ができることは、市が構築した各地域での仕組みの啓蒙活動くらいではないか。
委員	瀬戸自治連合会にて、各自治会長に協力してもらい各地区の団体に説明をしてもらう。分別の在り方、特に食品ロス、ミックスペーパーの説明などを今一度話す。
委員	自分が属している地域団体の催しの時に15分ほど、ごみ減量の話をする。消費者グループにも属しているので、定例会で市職員に講話してもらう。食生活の実習後に10分ほど食品ロスの話をする。ご近所サロンでごみの話をするとともに、高齢者の生の声をひろう。
委員	会議などでのペーパーレス化の推進。ミックスペーパーの分別普及。
委員	パーティ瀬戸のクラブ、瀬戸蔵のクラブ、町内会のクラブ、農協のクラブの内、特に婦人部等へ広報紙配布による協力依頼をする。
委員	減量モニターとなり、ごみ量を計量。減量結果を市ホームページ等で公表。市イベントにブースを設けて、分別ゲーム等の啓発活動実施。所属団体内での啓発活動。
委員	<p>水野地域力向上委員会での、広報誌まほろば、毎月発行のまほろばカレンダー、水野地域力向上委員会ホームページ（水野まほろば）への啓発記事等の掲載。</p> <p>水野地区で行っているクリーン作戦（今年是不明）での協力、水野まつり（今年は中止）での啓発協力。</p>

事務局	<p>・自治会については、アンケートのご協力をお願いさせていただいたところである。ご意見をもとに、啓発のご協力を依頼させていただきたい。</p>
<p>昨年度実施した市民説明会で使用したパワーポイントの資料を用い、瀬戸市のごみの現状について、まず職員向けに動画を作成いたしました。その後、市民向けに啓発動画を作成するにあたり、同封しております DVD をご覧いただき、内容についてご意見を願います。また、啓発動画をどういった場で使用するのが効果的だと考えられるかご記入ください。</p>	
会長	<p>■内容について 配信するには長い。Youtube ならば2分。セミナー用ならば5分ではないか。手作り感は好感が持てた。イラストも良い。</p>
副会長	<p>■内容について キャラクターを用いていることから、小学生程度から対象としているかと思われるが、説明における言い回しは、より年齢の高い層を意識しているものと思われる。しかしながら、「～だよ」等の語尾からすると、やはり、小学生対象なのか。内容は、中高生以上、見せ方は小学生低学年と、ちぐはぐな印象である。音楽も合っていない印象である。特に、後半は邪魔をしている気がする。 大学等の広報 CM、VTR も同様ですが、5分以上は飽きてしまうと、よく言われている。2分にまとめるとしたら何を伝えるか、5分あればどうか等、内容をより吟味厳選したものとする必要があるかと思う。</p>
委員	<p>■内容について わかりやすくよくできていると思う。 ■使用場所、使用方法について 各団体が集まるところは多くあり、そういった場で参加者に見てもらおうとよいと思う。</p>
委員	<p>■内容について わかりやすく、初めて見る人にも理解しやすいので、よいと思う。 直してほしいところとして、おじいさんの声が聞き取りにくい。グラフについて、赤の次にピンクは見にくい。人口とグラムの目盛りをもう少し考えて改善してほしい。データの部分で「～の傾向がある。」という言い方のほうが良い。②③へ変わる部分に時間がかかりすぎている。「このお金でおいしいものが～」より、たとえば「税金活用～」にしたほうが、市の DVD なので良いのでは。 ■使用場所、使用方法について 各種団体の集まりや地域の集会の時に始めに見せる。いろいろな集まりに何度も見せることにより、ごみ減量を早急にしないとだめという姿勢を表現する。</p>
委員	<p>■内容について よくまとめられていたと思う。会社のパソコンで観たが、再生できなかったパソコンも多かったため、対策が必要では。 ■使用場所、使用方法について 啓発重点期間を決めた上、市の公共施設で、常時動画を流す。女性会など</p>

	の会議で動画を流させてもらう。
委員	<p>■内容について</p> <p>特に問題はないが、説明の言葉にもう少し切迫感を持たせてはどうか。たとえば、このようにしていかないとごみの減量ができず、ごみ減量のために、ごみ袋の値段を上げなければなりませんので、皆さん一人一人の積極的な協力等を項目ごとに強く訴える。</p> <p>■使用場所、使用方法について</p> <p>町内の集会所で使用する。町内に1か月貸し出しして、町内の役員管理のもとに、役員交代でDVDを各戸一人は閲覧していただく。時間は短いので閲覧者にも負担は僅かである。30日間毎日やっても役員が交代でやれば負担は少々である。そして、閲覧者には記名をお願いし、閲覧率をみて、100%を目指す。このようにして、ごみ減量化の徹底をはかる。</p>
委員	<p>■内容について</p> <p>冒頭に市長が登場し、決意と市民への協力を呼びかけるべき。「非常事態宣言」はトップが呼びかけるべき。</p> <p>処分にASECが出てこない。実態と異なる。ASEC及びコストを明示するべき。</p> <p>税金では対応できないための有料化の意味を加える。</p> <p>二酸化炭素削減の手法としての意味を加える。</p> <p>■使用場所、使用方法について</p> <p>市民活動イベント、所属団体定例会。</p>
委員	<p>■内容について</p> <p>瀬戸市が、尾張旭市や長久手市よりごみ排出量が多い理由が何かについて、年齢構成、収集形態（ごみ分類等）等を多方面から分析して示してほしい。傾向がつかめないと対策の方向性が定められないと思う。</p> <p>前回の審議会で、小林議長が述べられたかと思うが、ごみの基本的な排出総量はある程度必要で、ごみ排出者毎の分別の意識浸透が課題では。その意識で観させていただくと、全体説明はわかるが、まだまだ足りないと思う。</p> <p>■使用場所、使用方法について</p> <p>市及び市の外郭団体、協力していただけるグリーンテレビ等のメディア利用。</p>
事務局	<p>・動画の時間、音声、色については、今後市民向けを作成するにあたり、よりよく修正を行う。</p>
その他	
会長	<p>ごみ組成調査のデータを整理し、ホームページに掲載してほしい。これから、環境省からも指針が出されたため、紙おむつリサイクル（適正処置）の方策の議論が本格化する。</p>

委員	市道等の草刈をボランティアで行った際のごみ袋費用負担の軽減または区別。現状、自己負担で協力している市民が多いため、その部分を適正負担で負担増とするのは、理解が得られない。
委員	使用可能な物の交換会、又は提供を促す。方法として、町内の集会所を活用して、現在使用しないものを持参してもらい、交換または提供し、物の長期使用をはかり、ごみにならないように使い切るようにする。
委員	「非常事態宣言」の意味は大きく、市長が先頭に立ち、市職員を率いて市民に実施協力を呼びかける必要がある。
委員	ごみ減量（15%）の実施が可能となれば、適正な処理費の負担（ごみ袋の値上げ）の議論について、どう進めることになるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ内に、組成調査のデータや啓発に使用した資料を蓄積していき、ごみ減量に関するページを作成していく。 ・現在のごみ減量の目標が達成されたとしても、継続的なごみ減量の有効な手段として、有料化は避けては通れないと考えている。本啓発の効果に伴う減量結果を鑑みて、1枚あたりの袋の単価に反映させていくことを考えている。